

「逃げ遅れる人々」は、東日本大震災の被災障害者や支援者らを取り上げたドキュメンタリー作品です。

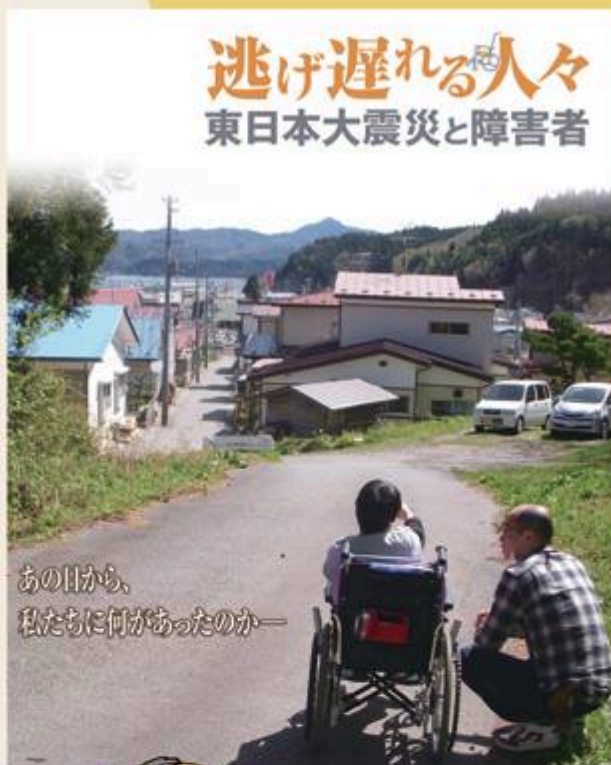
この震災で、障害者の死亡率は健常者の約2倍だったといわれています。避難が間に合わず津波にのまれた若い人工呼吸器ユーザー。避難所に居場所が無くて自宅に戻った車いすの女性。発達障害の娘が環境になじめず苦悩する母親…。千葉市内でも液状化現象などが見られ、県内でも旭市の津波被害などで24人の死者・不明者が出ました。

震災から5年。撮影した飯田基晴監督を招き、障害者や高齢者だけでなく、多様な支援を必要としている人々の備えについて、地域であらためて考えます。



逃げ遅れる人々

上映会 & 飯田基晴監督と千葉市在住障害当事者との対談



2016年

3月12日(土)

午後4時～7時

会場: きぼーる (13階会議室3)
(千葉市中央区中央4-5-1)

千葉都市モノレール蔵川公園駅 徒歩4分

京成線千葉中央駅 徒歩5分

JR千葉駅 徒歩15分

参加費500円 (会場費など)

定員45名、要申し込み



飯田基晴: 映画監督。1973年生まれ。横浜在住。98年よりビデオ、テレビ等で野宿者の状況を発表。2006年、仲間と「映像グループ・ポジション」を設立。ドキュメンタリーを中心にさまざまな映像制作を行う。監督作品として、「あしがらさん」(02年)、「犬と猫と人間と」(09年)などがある。ホームレス問題の授業、捨てられた犬猫を題材とした授業なども行っている。

渡辺惟大: 介護事業所代表。1987年生まれ。千葉市在住。徐々に筋力が衰えていく指定難病「筋ジストロフィー(デュシェンヌ型)」で電動車いすを使用している。震災の際は被災障害者・高齢者に車いすを届けるプロジェクト「ハートケアプロジェクト」の中心メンバーとして活動した。2014年、介護事業所「アクセスデザイン」を起業。社会福祉士。

主催: アクセスデザイン 訪問介護事業所 ☎043-306-8630

(上映会専用メール) joueikai312@yahoo.co.jp